

北里大学病院 2019年度【第2回】医療安全監査報告書

2020年1月24日

学校法人北里研究所

理事長 小林 弘 祐 殿

学校法人北里研究所

医療安全監査委員会

委員長 平原 史 樹



学校法人北里研究所医療安全監査委員会規程第2条に基づき監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。

1. 監査の方法

学校法人北里研究所医療安全監査委員会規程第2条に基づき、北里大学病院における医療安全に係る業務の状況について、病院長、医療安全管理責任者、医療の質・安全推進室室長等から説明及び提出資料の確認を行い、質疑応答等の方法によって下記の監査委員が監査を実施しました。

委員長 平原 史樹 (横浜市病院経営本部 本部長)

委員 山口 育子 (認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長)

委員 海野 宏行 (神奈川県弁護士会所属 みなと綜合法律事務所)

委員 和田 仁孝 (早稲田大学大学院法務研究科 教授)

委員 花井 恵子 (神奈川県看護協会 会長)

2. 監査の実施日

2019年12月23日 (月) 17:30~19:10

3. 監査実施事項

■北里大学病院患者サービスセンター見学

相談対応状況、メディエーターの活動状況を視察し、質疑が行われた。また窓口としての最終責任者の存在を患者側にも可視化が必要である点など何点か指摘があった。

■医療安全に関する取り組み状況

(1)安全文化醸成のために4つの戦略として、「①報告する文化、②正義の(公平な)文化、③柔軟な文化、④学習する文化を醸成する」を基に、それぞれに目標を立て安全活動が実施されたことが報告された。

(2)インシデント報告については「あいれぼ」への報告状況を中心に報告された。

・2018年度の報告件数は13,440件で、影響度別レベル0は3,308件、グッドレポ

ートは2,150件の報告であったことが報告された。

- ・病院全体の報告数は年々増えているが特定の診療域の医師からの報告が少ない点への改善、研修医の報告の促進などの課題が指摘された。また情報は個々にフィードバックされるほか、グッドレポートとしての危機予知報告も適宜報告されており、各部署へニュースとして周知、共有されているなどの報告があった。
- ・また2年前よりインシデント報告の入力種別に「合併症・偶発症」を設けインシデント報告とは入力する入口を別にしたことで、報告件数は増加しており、2018年度が248件となったことも併せ報告された。これらに対しては病院長からの適宜指導が行われていることも確認された。

■有害事象報告

- ・有害事象として2事例について、資料とともに口述による報告、補足説明があり、その対応等について討議された。

4. 監査結果 報告

総括として学校法人北里研究所医療安全監査委員会規程第2条に基づき、北里大学病院における医療安全に係る業務の状況について、病院側から説明及び提出資料の確認、精査を行い、質疑応答等も含めた監査の結果、2019年度第2回学校法人北里研究所医療安全監査委員会として適正と評価、判定したことを報告いたします。